



## 2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月12日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年2月1日~2020年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	1,180	△46.1	△15	—	△33	—	△31	—
2020年1月期第1四半期	2,190	29.5	237	55.7	220	75.6	147	82.1

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 △54百万円(—%) 2020年1月期第1四半期 160百万円(101.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	△9.91	—
2020年1月期第1四半期	46.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	29,924	10,374	34.7
2020年1月期	28,979	10,492	36.2

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 10,374百万円 2020年1月期 10,492百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	12.50	—	20.00	32.50
2021年1月期	—	—	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日~2021年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年1月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。なお、業績予想の開示につきましては、可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年1月期1Q	3,200,000株	2020年1月期	3,200,000株
2021年1月期1Q	34,073株	2020年1月期	34,073株
2021年1月期1Q	3,165,927株	2020年1月期1Q	3,165,964株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

2021年1月期の個別業績予想 (2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響により、景気が急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。企業収益や個人消費も急速に減少しており、今後も感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。

このような経済環境のなか、当社グループは、昨年策定した中期経営計画を基に、持続的成長を可能とする組織・事業・収益構造の確立に向け取り組んでまいりましたが、政府の緊急事態宣言を受け、一部事業において営業時間の短縮や臨時休業を実施するなど、非常に厳しい状況となりました。

当第1四半期連結累計期間の成績は、売上高は1,180,111千円と前年同期に比べ1,010,734千円(46.1%)の減収となり、営業損失は15,837千円と前年同期に比べ252,975千円の減益、経常損失は33,537千円と前年同期に比べ253,646千円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,380千円と、前年同期に比べ179,237千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

#### (映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「ヲタクに恋は難しい」「犬鳴村」「スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼」、洋画作品では「パラサイト 半地下の家族」「キャッツ」「1917命をかけた伝令」などの作品を上映いたしました。また、本年4月には公式WEBサイトをリニューアルするとともに、会員サービスの刷新を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、上映予定作品の公開延期やイベントの自粛が相次ぐなか、感染予防対策を講じて営業してまいりましたが、政府や各自治体からの自粛要請に伴い、4月8日から営業の休止を余儀なくされました。

その結果、売上高は309,710千円と前年同期に比べ500,842千円(61.8%)の減収となり、営業損失は108,173千円と前年同期に比べ177,320千円の減益となりました。

#### (不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況について東京都心5区並びに大阪ビジネス地区の空室率におきましては、4月末時点では新型コロナウイルスによる影響は顕在化しておりませんが、今後の動向は注視する必要があります。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、新型コロナウイルスの影響を最小限に止めるべく、入居テナントと協議の上、換気の徹底、消毒液の設置に加え、テナントに無償で消毒液を配布するなど衛生面の対策を施しながら、テナントの事業継続を第一優先としたビル運営を継続いたしました。結果、当第1四半期連結累計期間末における直接保有ビルの稼働率は100%と満室稼働を維持いたしました。OS広場におけるイベントの中止や子会社におきましてはビル管理や清掃業務を請け負っている施設の閉鎖に伴う影響も発生しており、今後は更なる影響が予測されます。

また、昨年11月に和歌山県白浜町において取得いたしましたICTオフィスビル用開発物件につきましては、様々な働き方や地域創生に資する多様性を持ったオフィスとして提供すべく設計プランの検討を進め、改修工事に着手いたしました。

一方、住宅販売市況は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、販売の進捗は減速傾向にあります。緊急事態宣言以降、販売活動を自粛している事業主も多く、今後の市況は見通せない状況にあります。

このような状況のなか、不動産販売事業におきましては、分譲マンション「プレミア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」(宝塚市)の売上を計上しております。また共同事業者とともに進めております分譲住宅「ハピアガーデン宝梅一丁目」(宝塚市)につきましては、本年3月より販売を開始しておりましたが、4月8日から販売センターの営業を休止いたしました。

なお、取得済みの開発用地につきましては、事業化に向け鋭意取り組んでおります。

不動産賃貸・販売事業としては、分譲マンションの販売戸数が前年同期を下回ったことなどにより、売上高は832,481千円と前年同期に比べ440,865千円(34.6%)の減収となり、営業利益は292,945千円と前年同期に比べ65,800千円の減益となりました。

(飲食事業)

飲食事業におきましては、本年2月より新型コロナウイルスの影響が日々拡大し、不要不急の外出が控えられた結果、お客様が激減し、極めて厳しい状況となりました。また、政府や各自治体からの自粛要請に伴い、4月7日から全店舗で営業を休止いたしました。

売上高は、37,918千円と前年同期に比べ24,112千円(38.9%)の減収となり、営業損失は13,280千円と前年同期に比べ8,058千円の減益となりました。

当社グループ全体におきましては、国や自治体の指針に従いながら今後の新型コロナウイルスや国内経済の状況を注視し、お客様、従業員を含む関係者の安全を最優先に、あらゆる感染防止対策を講じ、営業活動に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は944,619千円の増加となりました。これは売掛金231,220千円の減少がありましたが、主に現金及び預金1,201,385千円の増加によるものであります。

負債につきましては1,062,356千円の増加となりました。これは買掛金157,166千円、未払法人税等147,303千円、未払費用127,332千円の減少がありましたが、主に長期借入金1,323,960千円、短期借入金233,650千円の増加によるものであります。

純資産につきましては117,737千円の減少となりました。これは主に利益剰余金94,698千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大及び4月7日の緊急事態宣言の発令などにより、当社グループの事業活動におきましても営業休止等の影響が出ております。5月21日には近畿3府県において、緊急事態宣言は解除されましたが、経済活動に与える影響は深刻化、長期化することが懸念されます。

このような状況に対し、当社グループはコスト抑制をはじめとする対策を推進しておりますが、先行きは極めて不透明な状況であり、業績予想を合理的に算定することは困難であります。したがって、2020年3月13日に公表いたしました2021年1月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,259,833	2,461,218
売掛金	311,565	80,345
販売用不動産	2,199,533	2,253,982
商品	12,121	10,060
貯蔵品	2,189	2,133
前払費用	86,264	127,089
その他	74,236	62,109
貸倒引当金	△7,383	△7,383
流動資産合計	3,938,361	4,989,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,050,705	19,048,650
減価償却累計額	△10,829,707	△10,948,484
建物及び構築物(純額)	8,220,997	8,100,165
機械装置及び運搬具	289,044	289,044
減価償却累計額	△180,063	△185,116
機械装置及び運搬具(純額)	108,981	103,928
工具、器具及び備品	729,380	733,950
減価償却累計額	△595,356	△605,222
工具、器具及び備品(純額)	134,023	128,727
土地	12,947,393	12,947,689
信託建物	596,773	597,170
減価償却累計額	△177,928	△187,442
信託建物(純額)	418,845	409,727
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	33,686	38,457
有形固定資産合計	23,676,535	23,541,304
無形固定資産		
ソフトウェア	34,991	109,955
その他	7,637	16,024
無形固定資産合計	42,628	125,980
投資その他の資産		
投資有価証券	363,549	330,307
長期前払費用	100,757	93,871
差入保証金	578,424	578,724
建設協力金	252,401	241,225
繰延税金資産	17,635	14,294
その他	8,420	8,420
投資その他の資産合計	1,321,187	1,266,842
固定資産合計	25,040,352	24,934,127
繰延資産		
社債発行費	1,166	816
繰延資産合計	1,166	816
資産合計	28,979,880	29,924,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	231,179	74,013
短期借入金	2,458,180	2,691,830
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	72,720	87,975
未払費用	254,598	127,266
未払法人税等	152,698	5,395
未払消費税等	82,696	44,450
賞与引当金	31,484	70,975
その他	344,243	275,482
流動負債合計	4,127,801	3,877,388
固定負債		
長期借入金	9,420,980	10,744,940
長期預り保証金	1,964,701	1,965,592
繰延税金負債	898,925	881,911
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	401,199	406,132
固定負債合計	14,359,855	15,672,624
負債合計	18,487,656	19,550,013
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,507	66,507
利益剰余金	6,800,434	6,705,736
自己株式	△106,366	△106,366
株主資本合計	7,560,575	7,465,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,884	116,846
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,931,648	2,908,609
純資産合計	10,492,223	10,374,486
負債純資産合計	28,979,880	29,924,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)
売上高	2,190,845	1,180,111
売上原価	1,743,072	978,646
売上総利益	447,772	201,464
一般管理費	210,635	217,302
営業利益又は営業損失(△)	237,137	△15,837
営業外収益		
受取利息	1,949	1,745
受取配当金	446	-
匿名組合投資利益	2,876	-
その他	1,268	1,436
営業外収益合計	6,541	3,182
営業外費用		
支払利息	21,272	19,243
その他	2,296	1,638
営業外費用合計	23,569	20,881
経常利益又は経常損失(△)	220,109	△33,537
特別利益		
補助金収入	-	2,000
特別利益合計	-	2,000
特別損失		
固定資産圧縮損	-	2,000
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	2,000
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	220,109	△33,537
法人税、住民税及び事業税	57,939	1,358
法人税等調整額	14,311	△3,515
法人税等合計	72,251	△2,157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	147,857	△31,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	147,857	△31,380

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	147,857	△31,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,819	△23,038
その他の包括利益合計	12,819	△23,038
四半期包括利益	160,676	△54,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,676	△54,418
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大及び4月7日の緊急事態宣言の発令などにより、当社グループでは、映画館や飲食店舗、分譲マンション販売センターの営業を休止しておりました。5月21日に緊急事態宣言が解除され、順次営業を再開しております。

このような状況のなか、経済活動再開に伴い需要は徐々に回復していくものと仮定しておりますが、感染拡大前の水準まで回復するには年内までの期間を要するものと想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業 (注3)	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	810,553	1,273,347	62,030	44,913	2,190,845	—	2,190,845
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	9,569	—	—	9,569	△9,569	—
計	810,553	1,282,916	62,030	44,913	2,200,415	△9,569	2,190,845
セグメント利益又は 損失(△)	69,146	358,746	△5,221	2,076	424,748	△187,611	237,137

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,611千円には、セグメント間取引消去△1,351千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,259千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他事業」に属しておりますn a m c o三宮店は、2019年3月3日をもって営業を終了しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	309,710	832,481	37,918	—	1,180,111	—	1,180,111
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,877	—	—	5,877	△5,877	—
計	309,710	838,359	37,918	—	1,185,988	△5,877	1,180,111
セグメント利益又は 損失(△)	△108,173	292,945	△13,280	—	171,490	△187,328	△15,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,328千円には、セグメント間取引消去△862千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,466千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(コミットメントライン契約の締結)

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループに与える影響の長期化に備え、機動的かつ安定的な資金を確保するとともに財務基盤をより一層安定させることを目的として、2020年5月25日付で本契約を締結いたしました。

契約概要

設定額	25億円
契約締結先	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社
契約期間	2020年5月29日～1年間
担保の有無	なし